



発行所 愛媛県今治市大三島町宮浦
日本総鎮守 〒794-1393

大山祇神社社務所

電話 (0897)82-0032

FAX (0897)82-0019

<https://oomishimagu.jp/>

大三島海事博物館

大三島大社講



御田植祭参進

大三島大社講の入講案内

大山祇神社は古くからこの大三島に鎮座し、日本総鎮守、伊豫國一宮と尊崇されてきた四国第一の古大社でございます。御祭神は大山積大神、またの名を和多志大神と申し、山岳を守護される神様であるだけでなく、五穀成就、海上安全、漁業満足、長命開運、造酒の守護神としても、広く知られております。古来、皇室を始め一般国民に至るまで崇敬が篤く、「大三島詣で」として知られ、遠近より参拝するものが絶えませんでした。そして崇敬者に満足を与え、便宜を図るため、昭和二年（一九二七）に当時の国幣大社大山祇神社の崇敬者団体として、大三島大社講は設立されました。皆様のご入講をお待ちしております。

【この講社の趣旨】

大三島大社講は大山祇神社の崇敬者を結集し、敬神崇祖の信念に基づき、至誠以て道義を高揚し神恩に奉謝し普く神人和力文明造化の真理を顕現し、大山祇神社の維持を図り次の事業を行う。

【この講社の主な事業】

- 大山祇神社の神徳昂揚
- 大山祇神社国宝重要文化財その他宝物保存修理

- 大山祇神社祭礼神事の保存
- 図書、雑誌の編集発行
- 講演会の開催
- 講社員募集並びに伝道
- その他本講社目的達成のために必要な事業

【入講後の主な待遇】

- 家内安全家業繁栄祈願祭斎行の上、大麻を奉送する。
- 講社大祭並びに毎月一日祭に講社員名簿を奉奠して家内安全家業繁栄の祈願祭を齋行する。

- 大山祇神社宝物館拝観優待券贈呈。
- 大三島海事博物館拝観優待券贈呈。
- 社報「大三島宮」を贈呈。
- 大三島暦を贈呈。

• 大山祇神社例大祭・講社大祭他の御案内

【ご入講の手続き】

- 名誉講社員 毎年 五十口以上
 - 特別講社員 毎年 五十口以上
 - 正 講社員 毎年 一口以上
- 但し、一口 金三千元也
- 入講に關しましては、当社までお問い合わせください。

〒七九四-1-1393
愛媛県今治市大三島町宮浦三三二七
大山祇神社内 大 三 島 大 社 講
TEL 〇八九七-八二-〇〇三二



宝物館優待券



大三島暦

大三島大社講について、こちらよりご意見等お寄せください。入講の有無にかかわらず、どなたでもご回答いただけます。



例大祭

五月二十九日(旧曆四月二十二日)

輝かしい晴天に恵まれた五月二十九日、「大山祇神社例大祭併講社大祭」が行われた。

大山祇神社責任役員を始め、地元総代ら多数参列のもと、大神様への感謝の誠を捧げ、皇室の弥益々の繁栄、氏子崇敬者の安寧と世界の平和を祈念した。当社では例大祭期間を迎えるにあたり、大祭一週間前から毎日、境内末社の宇迦神社にて祈晴祭を行い、例大祭期間の晴天



宇迦神社祈晴祭

を祈る。大祭二日前には、御本社・両摂社の内陣を清掃する神殿清掃祭を斎行。翌日、御更衣御戸開祭を行い、夏物の衣と新調した御幣を内陣に奉った。御更衣御戸開祭は大雨に見舞われ、やむなく雨儀での斎行となったが、大祭当日は一転、降水確率〇%の素晴らしい晴天であった。その他諸祭典を滞りなく執り納め、年に一度の例大祭を祝した。

例大祭献酒御礼

御祭神、大山積神は「酒解神」の別名がある。娘の「木花開耶姫」の皇子誕生を祝い、大山積神は狭名田の稲から、天甜酒を醸したと日本書紀に見える。故に、大山積神は日本最古

の醸造の神としても崇敬されている。本年もこの例大祭に際し、内外の醸造会社より多くの御献酒を賜った。茲に御尊名を記しあらためて御礼申し上げる次第。

※敬称略

- 愛媛県酒造組合
- 山丹 正宗 (株)八木酒造部 愛媛県今治市
- 雪 雀 (株)雪雀酒造 (株)愛媛県松山市
- 栄 光 (株)栄光酒造 (株)愛媛県松山市
- 天 翔 (株)桜うづまき酒造 (株)愛媛県松山市
- 仁 喜多津 (株)水口酒造 (株)愛媛県松山市
- 石 鉦 (株)石鉦酒造 (株)愛媛県西条市
- 御代 栄 (株)成龍酒造 (株)愛媛県西条市
- 千代 登 (株)無手無冠 高知県高岡郡四万十町
- 竹 鶴 (株)竹鶴酒造 (株)広島県竹原市
- 龍 勢 (株)藤井酒造 (株)広島県竹原市
- 誠 鏡 (株)中尾醸造 (株)広島県竹原市
- 彌 山 (株)サクラオB&D 広島県廿日市市
- 賀 賀 (株)賀茂鶴酒造 (株)広島県東広島市
- 福 人 (株)福美人酒造 (株)広島県東広島市
- 白 丹 (株)丹白 (株)広島県東広島市
- 都 錦 (株)都錦酒造 (株)高根県江津市
- 月 冠 (株)月桂冠 (株)京都府京都市
- スーパードライ(アサヒビール(株)松山支社) 愛媛県松山市



御田植祭

六月十日(旧暦五月五日)

例大祭に続き、御田植祭も盛大に執り行われた。

春の御田植祭と秋の抜穂祭で奉納される「二人角力」は県の無形民俗文化財に指定されており、目に見えない稲の精霊と「一

力山」という力士が三番勝負の角力を取る神事である。今年も二勝一敗で稲の精霊が勝ち越し、本年の五穀豊穡が約束された。続いて、地元の子供たちが扮する早乙女によって御田植神事が行われ、ひたむきに

田植えに勤しむ様子を、訪れた参拝者らが温かく見守った。
十月十一日(旧暦九月九日)に行われる抜穂祭では「抜穂乙女」が稲刈りの神事に臨む。秋の収穫が待ち遠しい。



一人角力



斎田に向かう早乙女たち



浦安の舞 講習

天地の 神にぞ祈る 朝なぎの

海のごとくに 波たたぬ世を

昭和天皇御製をもとに皇紀二六〇〇年を奉祝して作られた浦安の舞。全国各地で神事舞として行われているが、当社でも恒例祭には浦安の舞が奉奏される。

今春採用の内子（巫女）が正しい舞姿を習得するため、基本の講習を実施。波多野容子氏を招聘し、四月七日～十日（四日間）ご指導いただいた。

五穀豊穰祈願祭



火縄神事

夏の土用の入りにあたる七月十九日、五穀豊穰祈願祭を斎行。御本社にて神火を火縄に戴いた後、斎田にて火縄神事を行った。この神事に用いられる火縄とは、檜の皮を柔らかく加工した【**槇肌**】と呼ばれるものを縄状にしたもの。夏の土用には県内各地から多くの生産者が五穀豊穰の祈願を受けられ、この火縄を持ち帰り各自田畑で点火した火縄を振り回し、その火縄の煙を以て虫除け祈願が行われる。

ホームページ改修完了

アンケートなどにも度々寄せられていましたが、この度、当社ホームページの改修が完了致しました。主に、大三島大社講のご案内ページ、境内図の視認性向上、各ページの表示速度の向上、「宝物さんぽ」ページの更新でございます。大三島大社講への入講をご希望の方は、大社講のご案内ページから申込用紙をダウンロード、必要事項を記入し印刷の上、FAXか郵送にてお申込みいただけます。どうぞご活用ください。



<https://oomishimagu.jp/>

大山祇神社

検索

大三島宮祭事暦

令和六年九月～令和六年十二月

九月	一日	一	阿奈波神社宵祭
	二日	一	阿奈波神社宵祭
	三日	一	阿奈波神社例祭
	二十一日	一	鎮疫宮出祭
	二十二日	一	産須奈大祭
	二十二日	一	鎮疫宮入祭
十月	一日	一	皇靈殿遙拜式
	十一日	一	秋季祖霊社祭
	二十二日	一	月次
十一月	一日	一	一日
	三日	一	明治祭
	二十一日	一	神殿清掃祭
	二十二日	一	御更衣御戸開祭
	二十三日	一	新嘗祭

産須奈大祭・抜穂祭のご案内

九月二十二日(日・祝)に産須奈大祭(秋祭)、十月十一日(旧曆九月九日)(金)に抜穂祭を斎行致します。

産須奈大祭は、国土安泰・五穀豊穰感謝・民族の繁栄等を祈念するお祭りです。島内各地の氏子による毛槍獅子舞等の供奉行列、神輿渡御等が行われ、島内外から多数の崇敬者が集まり、島内は大変賑わいます。



産須奈大祭 (令和5年)

抜穂祭は、抜穂乙女によって刈り取られた稲穂を神前に御供えし、収穫の感謝をお伝えするお祭りです。併せて御田植祭同様、無形民俗文化財指定の「一人角力」も奉納されます。皆様お揃いでご参拝ください。祭典日の御祈禱や御朱印対応に関しましては、別途ホームページにてお知らせいたします。

抜穂祭は、抜穂乙女によって刈り取られた稲穂を神前に御供えし、収穫の感謝をお伝えするお祭りです。併せて御田植祭同様、無形民俗文化財指定の「一人角力」も奉納されます。皆様お揃いでご参拝ください。祭典日の御祈禱や御朱印対応に関しましては、別途ホームページにてお知らせいたします。



抜穂祭 (令和5年)

七五三詣のご案内

七五三は、子供たちの成長と健康の感謝、今後の成長と健康を祈る儀式です。一般的には、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳にお参りするとされております。七五三祈禱を受けられたお子様には、御守、千歳飴(数に限りがございます)をお渡しいたしますので、どうぞご家族お揃いでご参拝ください。

また、当社指定の山口写真館にて七五三の記念撮影を受け付けております。ご希望の方は左記QRコードよりホームページをご参照ください。

山口写真館 TEL〇八九七七八二一〇〇二八
七五三期間：十一月三日(日・祝)～十一月二十三日(土・祝)

受 祈 禱 料…五千元(※個人のお祈禱は当日、社頭授与所にてお申込みください。)

尚、祭典がございますので、御祈禱は左記の時間を避けてお申し込みください。

十一月 三日(日・祝) 正午～午後十一時
二十一日(木) 正午～午後一時
二十二日(金) 正午～午後一時
二十三日(土・祝) 午前十一時

山口写真館
七五三ページ



千歳飴と香袋守